

令和元年11月18日

育児講座

幸町保育園

『子どもの成長にあわせた親のかかわり』

講師：NPO法人子育て支援いっすね
理事長 小野寺 里子 氏



11月9日(土)本園・分園合同で、本園遊戯室にて「保育参加」後に『育児講座』を開催しました。『子どもの成長にあわせた親のかかわり』と題して、NPO法人子育て支援いっすね理事長 小野寺 里子 氏をお招きして講演をしていただきました。講師の先生は、市内保育園の園長先生をされていた方で、沢山の経験と知識の中から様々な参考になるお話を聞かせて頂きました。

叱る→教えるに変えてみませんか

- ・おもちゃを片づけない 「ごはんだから、ここの箱にいれてね」
- ・朝起きてボーっとしている子どもに着替えさせるとき

「パジャマを着替えよう。上着のボタン自分で出来るかな」

1. ほめるポイントを見つける

→子どもの行動に注目し、出来ている部分だけをほめる

2. 上手なほめ方

→気持ちが伝わるほめ方を心がける

3. ほめるタイミング(回数)

→ 具体的な行動をほめる、段階ごとにほめる

4. 気をつけること

→年齢や性格、その時の様子をよく見て子どもが喜ぶほめかた
否定的言葉から肯定的言葉
〇〇したら××しないよ⇒〇〇したら××出来るよ

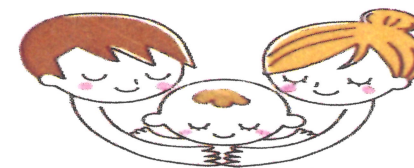


成長に合わせて、「かける」のは、なにを「かける」？

「子育てで、かけるもの」

- 手をかける（乳児期）
- ⇒声をかける（小学生）
- ⇒目をかける（中学生）
- ⇒お金をかける（それ以降）

沢山の愛情を注ぎながら手をかけていきましょうね！



《参加された保護者の皆さんに感想を書いていただいたのでご紹介したいと思います。》

頭では分かっても忙しさから感情的になってしまうこともあり後から反省する日々です。イラっとしてもまずは、1.2.3と数えて怒らず叱る。で、接していきたいと改めて思いました。



悩みが少し解消した気がします。大変参加して良かったです。ありがとうございました。

育児講座では夫が話を聞きながらメモをしている姿も嬉しかったです。2人で子育てを見直す時間となりありがたかったです。

ついおこって叱ってしまうなど話を聞いていて、すごく心にひびきました。着替えをする時も、「早く早くおいていくよ」とか「おかたづけしないとゴミにすてちゃうよ」と言っています。これからは、子供の様子を見ながら、ほめて育ててみようと思改めて感じました。でも叱る時には叱らなければいけないと感じました。成長によって言葉のかけ方を変えていかなければならないと思いました。



沢山のご参加
ご感想ありがとうございました。

